大規模化に対応する持続的な地域農業の推進

～さらなる向上をめざした酪農経営の実現と畑作物の安定生産～

活動年次：令和３年～７年

十勝農業改良普及センター十勝西部支所

1　課題設定の背景 **********

対象：鹿追町東瓜幕地域15戸　（酪農家７戸、畑作農家８戸）

経営規模：酪農）平均経産牛頭数　149頭/戸
　　畑作）平均経営面積　　50ha/戸

家畜ふん尿を有効活用して肥料費削減を！

(1) 家畜伝染病の伝播を防ぐため農場防疫の徹底
(2) 家畜糞尿を有効活用した減肥技術の導入
(3) 牛群管理技術の見直しによる繁殖成績の向上
(4) 収量や品質が低迷するばれいしょの栽培技術改善
(5) てんさいのほ場作業改善、土壌pH改善など基本生産技術の見直し

生育揃いを良くしたい！

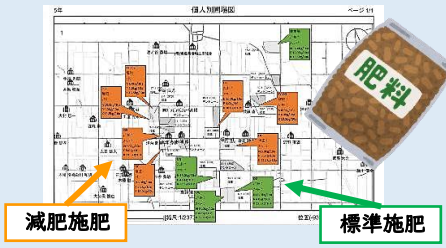
粗生産額（所得）のアップ！

2　活動の経過 **********

①酪農家への取組み

農場防疫への意識向上	飼料作物の減肥によるコスト低減栽培	牛群管理と繁殖成績の改善
消毒槽、衛生管理区域看板、入場記録の設置呼び掛け。	①ほ場地図をふん尿散布量で色分け。 ②適用施肥量を２水準にして設計提案。 ③水準ごとの収量と肥料費の変化を調査。	①繁殖管理板を農家と自作。 ②牛群の発情発見に活用。 ③繁殖成績の随時確認。

バイオセキュリティ対策の提案



施肥体系を2水準に統一して提案

繁殖管理板活用の提案

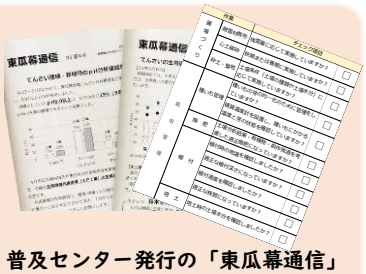
②畑作農家への取組み

てんさいの栽培管理改善	ばれいしょ植付け作業と種子予措の実践	チェックリストによる作業確認
①土壌改良資材の施用推進 ②中耕作業の推進提案	①種いもの芽出し均一化作業の実践提案 ②種いも温度管理の実践と提案 ③株間、深さ等植付け作業精度の提案	①リストで改善作業の再確認 ②各改善技術の再確認・実践 ③「東瓜幕通信」で情報共有

穿孔ポットや土改材活用提案

芽出し均一化のため、種いものフレコン移動

植付け精度の確認



普及センター発行の「東瓜幕通信」
各作業確認に活用したチェックリスト

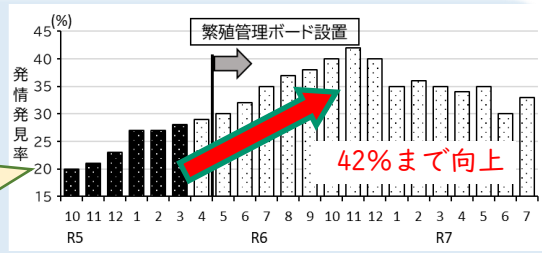
3　活動の成果 **********

①酪農部門での成果

○農場防疫の意識向上

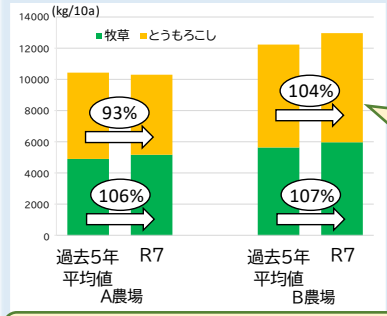
地域の農場防疫意識が高まった

○牛群管理と繁殖成績の改善



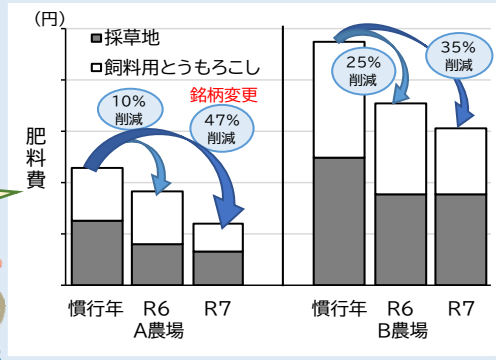
発情発見率が大きく向上
空胎日数は17日短縮した！

○飼料作物の減肥によるコスト低減栽培



減肥体系でも収量維持と肥料費が削減可能であることが認識された

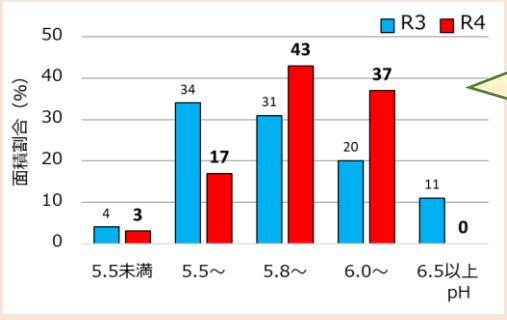
減肥実践農家で、肥料費が慣行年対比最大47%削減された！



施肥量減らしたけど、減収はしなかったな。
肥料費も下がったし、来年も続けるよ！

②畑作部門での成果

○てんさいの栽培管理改善



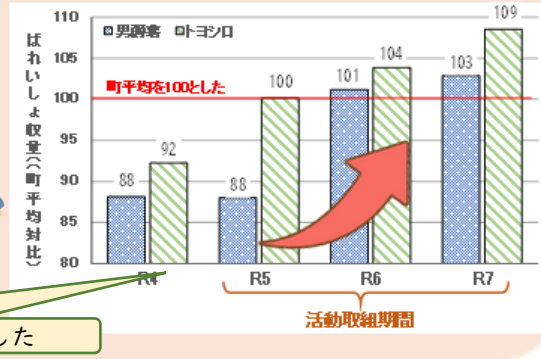
てんさいの土壌pHの改善面積が増加！
(pH5.8以上面積　63%⇒80%)

○ばれいしょ植付け作業精度の改善

適切な植え付け深が実践された

初期生育が揃うようになった！
種いも管理や植付けは大事だね

その他心土破砕、中耕作業の実践率が向上！



地域内7戸が技術導入に追随し、全体の収量が向上した

③経済性の成果

最終年の粗生産額は現況比128%となった。
物財費・飼料費・肥料費が高騰する状況だったが、所得額は同102%を確保することができた。

経営評価項目	現況年 H30 -R2	最終年 R7
粗生産額（現況比%）	100	128
所得額（現況比%）	100	102
所得率（%）	28	25

4　今後の活動 **********

・本課題は、一定の技術浸透が図られたことから終了する
・引き続き町内での技術波及と浸透に努め対応する